



令和6年度
大分市立高田幼稚園
12月号

先日はオープンスクールのご参加ありがとうございました。それぞれの発達段階における様子を見ていただけたのではないのでしょうか。サファリごっこ遊びは人権学習にもつながっており、自分たちが作ったものに「命を吹き込む」温かい心・優しい心も大切にしています。

今回のお便りは、サファリごっこ遊びになるまでの過程(見学遠足の姿、製作風景等)をお知らせします。

サ
フ
ア
リ
見
学



出発進行！！
どんな動物たちに会えるかな♡ワクワクドキドキしながらのバスは元気いっぱい。クイズ大会をしたり歌を歌ったり、バス酔いする子もなく一安心☆



カメラマンの軸丸先生を入れて高田幼稚園大集合！



ドキドキしながらジャングルバスに乗り込みました。ライオンの迫力に涙する子、興味津々に動物を見る子、エサをあげるけどトンビに取られてしまいがっかりする子、いろいろな姿が見れましたが、バスを降りたらみんな笑顔になっていました。(自然との関わり生命尊重)



まずは個人の満足！にじぐみさんは一人1体モルモットを作りました。マイモルモットができ、外で遊ぶ時も一緒に遊んでいます。年長児は集団、年中児は個人、それぞれ発達段階に応じた作り方をしています。

「去年のほしぐみさんはこんなことしてたよ。ぼくたちはこんな風になりたい」と言い作り上げてきたサファリごっこ。来年はどんな風に今年の話をしてくれるでしょうか。憧れのほしぐみさんが作るものは、にじぐみさんにとってすべてキラキラにみえるようです。

帰りのバスは夢の中！？
たくさん遊んだあとのバスはみんな夢の中かなと思いましたが・・・夢の中の子は半分、その他のこどもたちは、興奮冷めやらぬでした。たくさんいい思い出ができました。



最初は段ボールや廃材だったものに、どんどん命が吹き込まれていきます。名前を付けたり、寒そうだから布団をかけるという布団をかけたり、壊れてしまったら「手当しよう」と言ったり、...
こどもたちはこのごっこ遊びで他者との協同性や思考力の芽生え、伝え合いなど沢山のことを学んでいきます。

